



特定非営利活動法人

おもしろ科学たんけん工房

たんけん通信

新年 謹賀

おもしろ科学体験塾に参加してくださっている児童と、その保護者の皆さまの、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。また、おもしろ科学たんけん工房の旗のもとに、力を合わせて頑張っている仲間たちの健康を祈ります。

私たちは、持てる力とエネルギーを結集して、更に一步前進を図りたいと思います。今年も皆様のご支援をお願い申し上げます。
代表 安田光一

☆ こどもたちが自転車でゆけるところに、あまねく科学体験塾を！ ☆

2013年度(平成25年度)の方針



横浜市の外郭団体との協働を続けたいと考えています。

【こども科学館】

はまぎんこども宇宙科学館との連携は、大変重要であることはいうまでもありません。是非とも続けたいと考えています。

科学館からも、新たな形での共催プロジェクトを提案されています。2013年度は新たな展開も期待できそうです。

【公益法人 よこはまユース】

また、(財)青少年育成協会から変身した「よこはまユース」との連携は、科学体験活動推進スタッフの発掘・養成研修や、スタッフの自己啓発などの観点からも大切であると考えて、連携を続けます。

【男女共同参画センター】

男女共同参画センター横浜の3館との共同企画の募集に応募し、科学体験塾開催の重要拠点として、継続する方針です。

【教育委員会の後援】

また横浜市ならびに藤沢市の教育委員会の後援も、それぞれ継続してお願いする予定です。

藤沢市内での
スタッフ養成研修
を2013年度も
企画する方針です



横浜市内では、年間2回の「スタッフ養成研修」開催を計画しています。

4～5ヶ月にわたる 体験塾での数回の現場実習と自由実習 に加えて、5日間の集合研修で、推進スタッフの基本を習得します。

第1回:春から夏に 第2回:秋から冬に

年間約130回余の「おもしろ科学体験塾」開催を計画しています。



そのほかに、地域からの要望に応じて、たくさんの「出前塾」と、複数の学校からの要望による、数回の「学校支援」の実施が予定されています。

認定申請 : 昨年(2012年)11月末に、認定NPO法人の仮認定申請を、所管窓口に提出しました。
助成金申請 : かながわボランティア活動推進基金21の補助金を申請しましたが、残念ながら落選しました。
トヨタ財団の助成金にも申請しています。結果は3月に分かります。

おもしろ科学体験塾

1月下旬～4月中旬の予定

この表は予定表です。お申込に当たっては、実施の約1ヶ月前に出るチラシ、またはホームページの募集案内でご確認ください。

記号	実施日	曜日	時間帯	実施場所	テーマ名
M92	1/19	土	午後	永野小学校	静電気のふしぎを実験／静電気モーターを作る
S121	1/26	土	午後	湘南台高校	静電気のふしぎを実験／静電気モーターを作る
T115	1/26	土	午後	フォーラム	静電気のふしぎを実験／静電気モーターを作る
MN18	1/26	土	午後	フォーラム南太田	静電気のふしぎを実験／静電気モーターを作る
A43	1/26	土	午後	アートフォーラム	作ろう！ ふしぎなテクテクザウルス
ST31	1/26	土	午後	瀬谷小学校	やじろべえを作ろう
J96	2/2	土	午前	こども科学館	信号機を作って電気の勉強をしよう
SH27	2/2	土	午前	汐見台小学校	静電気のふしぎを実験／静電気モーターを作る
K108	2/9	土	午後	鵠沼中学校	ブザーを作ってモルルス通信に挑戦
M93	2/9	土	午後	永野小学校	すもうロボットを作ろう
L83	2/9	土	午後	柏陽高校	マサツとスベリのせかい
J97	2/16	土	午前	こども科学館	ホバークラフトをつくろう
SW39	2/16	土	午後	都筑地区センター	レモンや食塩水で電池 を作ろう
T116	2/23	土	午後	フォーラム	磁石と電気のふしぎを実験／モーターを作る
MN19	2/23	土	午後	フォーラム南太田	やじろべえをつくろう
SR11	2/23	土	午後	白幡小学校	静電気のふしぎを実験／静電気モーターを作る
S122	3/2	土	午後	湘南台高校	紙コップでヘッドホンをつくろう
J98	3/2	土	午前	こども科学館	ICラジオを作ってみよう
SG28	3/2	土	午前	杉田小学校	ソーラーカーを作って走らせよう
A44	3/2	土	午後	アートフォーラム	水と色のファンタジー
K109	3/9	土	午後	鵠沼中学校	ICラジオを作ってみよう
L84	3/9	土	午後	柏陽高校	光と色のふしぎな世界 — 簡単カメラ, 兼分光器を作って光の実験
SW40	3/9	土	午後	都筑地区センター	見よう さわろう 音のせかい
M94	3/16	土	午後	永野小学校	磁石と電気のふしぎを実験／モーターを作る
J99	3/16	土	午前	こども科学館	やじろべえをつくろう
S123	3/23	土	午後	湘南台高校	てんびんばかりを作って 重さをはかろう
T117	3/23	土	午後	戸塚地区センター	音をつくろう 指ピアノ
MN20	3/23	土	午後	フォーラム南太田	マクスウェルのこまをつくろう
YS27	3/23	土	午後	三保小学校	水をきれいにする おもしろ実験
K110	4/13	土	午後	鵠沼中学校	三角翼ヒコーキをつくろう
L85	4/13	土	午後	柏陽高校	じゃがいもで実験／でんぷんを調べよう
SH28	4/13	土	午前	汐見台小	紙づくりたんけん／牛乳パックからはがきを作る
M95	4/20	土	午後	永野小学校	気体の力のおもしろ実験と工作
J100	4/20	土	午前	科学館	ヘリコプターを作ろう

藤沢地区グループ便り No.23

楽しかったね!! 「開こう科学のとびら」

12月14日 秋葉台小学校

12月14日(金)秋葉台小学校体育館で、4年生全員(約150名)を対象に出前塾「開こう科学のとびら」を開催しました。今回は秋葉台小学校PTA会長からの依頼を受け開催したもので、「科学の扉を開ける。科学の楽しさを知る。」を狙いに、「見よう さわろう 音の世界」、「ヘロンの噴水」、「ホバークラフト」、「ジェットコースター」、「静電気で遊ぼう」の5テーマで実施しました。

◎「見よう さわろう 音の世界」

太鼓の音で自分たちが持っている風船がふるえることに、まずビックリ。次に、長い透明なアクリル管の中の発泡スチロールの粒が、スピーカーから出る低い音、高い音あるいは音楽にあわせて飛び跳ねたりする様子に大歓声を上げ、また、マイクを介した自分たちの声が形になって表れるのを見て大喜び。すっかり音の世界を満喫していました。



◎「ヘロンの噴水」



どこにでもあるペットボトルを組み合わせて、簡単に噴水が噴き上がるのを見て、最初は不思議そうにしていました。次に子供たちに原理を考えてもらい、グループの代表に図を使って説明してもらいましたが、それぞれポイントをつかんで説明してくれました。皆まじめに観察し、考えてくれましたが、今回は、自分たちで噴水を作る時間がなかったのがちょっと残念でした。

◎「ホバークラフト」

風船を使ってテーブルの上を走るもの、モーターの力で床の上を走るもの、人が乗れる大型のもの3種類のホバークラフトを用意しましたが、何といたっても人が乗れるホバークラフトが大人気。全員が空中に浮いている感覚を実感し、その乗り心地を楽しみました。また、動き出すと止まらないこと、指導員を押すと逆に自分が動いてしまうことなどを体験しました。みんな大喜びで、もう一度乗りたいとの希望がありましたが、時間が足りませんでした。



◎「ジェットコースター」



経路の高さが異なる3つのコースのどれが速いか遅いか、またスタート位置の高さの違いで速度がどう違うのかを、スチールボールを実際に走らせることで確かめてみました。今回は実験というよりも、ジェットコースターでの球ころがし競争が主体となりまして、

今回の体験が何故だろうと考えるキッカケになればと思います。

◎「静電気で遊ぼう」

荷作りひもを裂いて作ったクラゲがふわっと空中に浮かんだり、コップにアルミホイルを貼って作った静電気モーターがビュンビュン回るなど、静電気ので起こる不思議な現象に目を見張っていました。電気コップにためた静電気、皆で手をつないで一斉に感電の体験をする「百人おどし」では、大きな歓声が上がりました。



最後に、アンコールの要望があった「百人おどし」を、今度は全員を2グループに分けて大勢で実施しました。大歓声のうちに、出前塾を無事終了。みんな楽しんでくれたようです。



(記事: 笹野 写真: 鹿島)

《百人おどし きたー!!!》

横浜東地区グループ便り

体験塾 母からの便り

川野 眞由美



小学4年生の娘がおもしろ科学体験塾に参加するきっかけは、学校で配られたチラシでした。科学なんて難しいかなと思いましたが、子どもにいろいろな体験をしてほしいと思いましたし、会場に通っている小学校という気楽さもあり、娘に勧めたのが始まりです。

初めての体験はにじいろの涙でした。指導員の方の説明に緊張気味の娘を見て理解できるだろうかと不安でしたが、アシスタントの方の助けをかりスポットで水溶液をたらず頃には、とても楽しそうで、私も参加したくなるほどでした。

その後、「天秤ばかり」「ヘリコプター」「でんぷんの化学」等に参加させていただき、毎回とても楽しんでいきます。理科好きになってほしいという親の願いは知る由もなく、本人はただ楽しいから参加しています。でも、嬉しそうにそしてちょっと自慢げに体験塾での様子を話す顔を見ていると今はそれでいいのかなと思います。まずは体験！とこれからも送り出したいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

(娘さんは汐見台小4年川野利菜さん)

なるほど！体験出前教室

稲垣 昭典

10月15日、川崎市立岡上小学校で特別授業「みょうさわろう、音のせかい」を行った。

これは、神奈川科学技術アカデミー(KAST)がプロモートしている小中学校を対象とした理科の特別授業に、このテーマをエントリーしたことによる。

毎年50回の枠に100校を超える申し込みがあるようで、同校の小島校長も「やっと実現した」と仰っておられた。岡上(おかがみ)小学校は、小田急線鶴川駅近くの高台、川崎市麻生区の飛び地にあり、周りを果樹園や畑に囲まれ、地域の方たちとの絆を大切にしている、ゆったりとした環境にあります。

今回は、4,5校時3年生2クラスの27、26名、6校時が4,5,6年生のサイエンスクラブと音楽クラブ合同で15名。都合3回の授業でした。

”音をみる、音にさわる”ことに半信半疑だった児童も、風船やクント管で大はしゃぎ。音当てクイズでは、3年生が「ド」を半数、「ラ」を数名にたいし、クラブ合同のクラスは、



どもうもほぼ全員あててくれた。単元ごとの実験メモも、マスがあつという間に埋まるほど書き

込んでくれ、発表もみな堂々としていて、大変気持ちよい授業であったが、1こま45分はあつという間に過ぎ、もう少し余韻を楽しむ時間を取りたかったと思う。今回の出前授業を行うに当たり、岡上小学校の校長先生をはじめ沢山の先生方に、準備段階から大変お世話になりました。ありがとうございました。(主任島田、アシスタント大熊、北村、稲垣で担当しました。)

地球温度環境と宇宙線とが、関係しているなんて！

金吉 雅人

最近、科学で感動したことは、NHK コズミックフロント(2012/9/9)での番組でした。

地球の温暖化/寒冷化の周期(1.4億年)が、太陽系が銀河系スパイラルアームの中を円運動で通過する周期(1.4億年)と一致している、というのです。



銀河系のスパイラルアーム想像図(NASA)

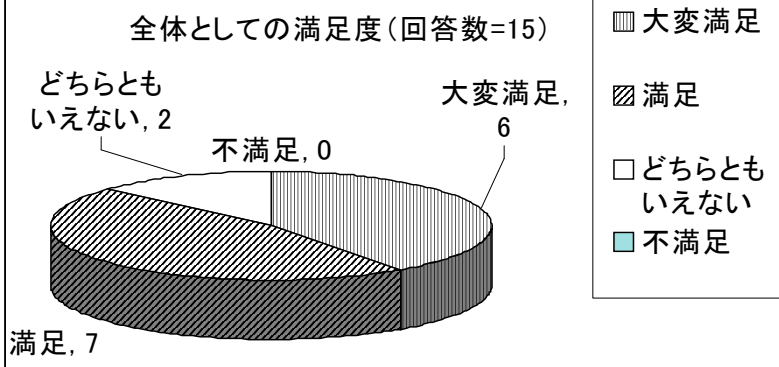
銀河系スパイラルアームの中では、星の生成・消滅が激しいため、宇宙線の発生頻度が極めて大きく、その中を通過する太陽系は宇宙線を大量に浴びることになり、地球に降り注ぐ宇宙線も多くなるというのです。

その宇宙線は、地球大気中では、空気と衝突してエアロゾルを作り出し、このエアロゾルと水蒸気とが結合して雲を生み出し、結果的に、宇宙線が多いと雲が多くなり、日光が遮られて地表温度が下がり、氷河期環境が1.4億年毎に訪れたというのです。これらの説明は、地質学のバイツァー教授と宇宙物理学のシャゼブ研究者との共同論文(2003年)で明らかにされました。何という巨大スケールの科学的説明でしょう！

第1期 スタッフ養成研修
終了時アンケート 集計表とグラフ



大変満足	6
満足	7
どちらともいえない	2
不満足	0
計	15



2012年度 第1期 科学体験活動推進スタッフ養成研修を16名の方々が受講しました。そのうち15名の方から、研修全体についての研修終了時での評価と感想を頂きましたので、その一部を掲載させていただきます。

★ 50代 女性 ・大変満足した

たんけん工房との出会いは、たまたま目にしたタウン誌の記事でした。思わず参加の申し込み画面をクリックして始まった研修でしたが、そこで私は仕事やPTA活動とはまた違った、ワクワク感や緊張感を体験することができました。科学への思いを持って自発的に集まった方々が生み出す熱意や、経験に基づいた安定感ある雰囲気、私にはなんとも心地よく、先輩方が生き生きと活動されている様子にも大いに刺激を受けました。

周到的事前準備(アイデアたっぷりです丁寧な裏方の作業には頭が下がりました)、十分に練られたシナリオ、子供達によりよい体験をしてもらうためのチームワーク・・・さらに工房として、今よりもっといいものを目指そうとする姿勢を強く感じました。

実習では、メンバーの皆様が大変お世話になり、ありがたく思っています。

工具の使い方や安全への配慮の研修も、興味深く参考になりました。

★ 30代 女性 ・大変満足した

良かった事

- ・様々な分野、世代の方々との交流によって、色々な考え方を知るととても良い機会となりました。
- ・個人一人では収集できなかった情報を様々な角度から得る事ができました。
- ・実習を通して、新しい分野にチャレンジすることができました。また子供達との接し方を改めて考える良い機会となったので、これからも実習に関わって行きたいと思えます。

疑問に思った事

・今回の講習で目指す方向性を示していても、実際現場に行くと主任や地域によって考え方が異なる事があったので、大人同士がお互いにやりにくかったのでは?と思うときがありました。スタッフ間の結びつきも重要かと思い、実験以外にも色々な親睦を深めつつ、活動を進めて行きたいと思いました。

★ 40代 男性 ・どちらともいえない

良かったことは、子どもたちに科学の楽しさを伝えようとNPOをつくった人々の存在を知ったことです。
改めて感じたことは、現在の学校の教育体制や先生の現実をご存知ない人があまりにも多かったことです。
特に印象に残ったことは、「磁界と電気の不思議実験」において地球の北極がS極にあたることをご存知ない人がアシスタントに入っていたことです。

感心したことは、ありません。

物足りなかったことは、「今の先生には理科が苦手な人が多い。」などと主観的な表現を多用していたことです。科学にたずさわる者ならば、きちんとデータで示していただきたい。サンプル数はいつくで、どういう調査方法で、どこの団体がいつ調べたのかが大切なのに、「朝日新聞に載っていた」では納得できません。

★ 60代 男性 ・満足した

良かったことは：体験塾の実習で活動の実際を知ることができ、自らの目標を明確にできたこと。

改めて感じたことは?：子供への接し方に注意深く配慮する必要があること。

特に印象に残ったことは：安田代表が非常に活動的でいらっしゃること。

感心したことは：講義ごとにアンケートを実施され受講者の反応をチェックされている点。

物足りなかったことは：工具の使い方の基本をお教えいただきました。子供が安全に工具を使えるよう指導するためにはまず指導する側が統一されているのが基本ですから受講者のレベルを確認する方針は良かったです。ただ、子どもへの指導のポイントと注意点についてもご指導いただければ非常に良かったと感じます。

★ 30代 男性 ・大変満足した

工具の使い方を一から勉強できてとても良かった。機会があったら別のものもやりたい。

また、安全に授業を行う方法やベテランの先生の授業のビデオも勉強になった。生徒への教え方についてよりいっそう考えさせられた。

また、一緒に参加した世代の違う人の意見も聞けていい経験になった。実習で現場を体験出来て良かった。

会員のプロフィール(自己紹介)

6 ページから 8 ページに掲載

後 和子 さん

藤沢グループ

2012年10月入会



A1: 生まれは東京都町田市です。結婚して神奈川の住民となり、藤沢に住んで31年になります。昨年の3月に定年退職するまで、藤沢の中学校の理科の教師をしていました。娘たちも結婚して家を出て、現在は夫婦2人暮らしです。

A2: 退職後、何か子供たちと関わることがやりたいと思っていたところ、タウンニュースのお知らせを見てたんけん工房のことを知り応募してみました。

A3 たんけん工房の活動に参加して、子供たちと一緒に工作をしたり、ふれあいはとても楽しいです。今はいろいろ体験をして、学んでやりたいテーマを見つけていきたいです。

A4: 時間に余裕ができたので、庭の手入れを楽しんだり、森林浴を目的とした散策のグループに参加して歩いています。

ハイキングも好きです。去年の夏には念願の富士山に登りました。頂上から眼下に雲海を見て爽快でした。

A5: 子どものときの体験は貴重だと思います。特に手を使って物を作ることは、技術だけでなくいろいろ工夫したり、創造力を培う場としても有意義です。子どもたちには、物を作る楽しみを味わって欲しい。同時に「どうしてそうなるのかな?」という好奇心(探究心)を持って欲しい。

自己紹介のための 質問項目

Q1 生まれたところ、今住んでいるところと、ごく簡単な略歴を差し支えない範囲でお書きください。

Q2 たんけん工房に参加するようになったいきさつと、動機を書いてください。

Q3 たんけん工房でやってみたいことはどんなことですか 具体的なテーマでも、夢のイメージでも。

Q4 趣味や、他に活動していることはどんなことですか?

Q5 子どもたちにぜひすすめてみたいことはなんですか?

佐藤 秀夫 さん

横浜北2グループ

2012年4月入会



A1: 生まれは東京葛飾です(帝釈天で産湯は使いませんでした)。現在は横浜市旭区に住んでいます。子供たちは独立し、女房と二人暮らしです。

工業高校を卒業し、大田区にある計測器メーカーに就職、4年後に大手コンピューターメーカーに転職しました。2002年に定年退職しました。

在職中に長野オリンピック組織委員会に派遣され、国籍、民族の異なる人々とのプロジェクト、危機管理など素晴らしい経験を積むことができました。

A2: 若い世代の理系離れについて見聞きすることが多くなり、何かできることは無いか? 常々考えていたところ、たんけん工房の募集パンフレットを発見しました。

A3: 理科や科学に興味を持つ子供たち増やすための活動がしたい。受講した子供たちに(何年後でも、大人になってからでもいい)印象に残るような言葉、知識などを与えたいと思います。

A4: 旭区青少年指導員協議会に10年以上所属しています。趣味はゴルフとアマチュア無線です。アマチュア無線は若い頃活動していたのですが、中断していました。2年前にカムバックしました。自作が好きで、まったく経験の無かったプログラミングにも挑戦しています。

A5: 道具や工具を使って、ものづくりを楽しめるようになって欲しい。

A6: 失敗してもあきらめない、知らないことにも恐れずに挑戦できる子供が育って欲しい。

私たちが子供の頃、知識、情報を得られるソースがとて少なかったように思います。今はインターネットなどで簡単に入手できるのですから。

『大科学実験』という番組をご存知ですか?

NHK Eテレで土曜日:午後7時45分から
と、火曜日:午前9時50分から10分番組で『大科学実験』という番組があります。

始めから完璧な実験をしなくて、数度失敗をし、最後にうまく行くという構成で、幼稚園児にも判るらしく、皆好きになります。(K.Kさん推奨)

辻 ただす さん

藤沢グループ
2012年10月入会



A1: 子供のころから飛行機が大好きで、パイロットに成りたいと思っていましたが、実物の航空機に触れる夢は叶いませんでした。それでも、自分で設計、製作する模型飛行機を趣味として楽しんでいます。いまだに、「空気より重い物体が、どうして青い空高く、舞い上がるのか？」不思議です。この工房を通して、趣味の模型作り、現役時代の設計技術経験を生かし、子供たちに、何事にも「なぜ?」、「どうして?」といった好奇心とそれを科学する心を持ち、自ら道具を工夫し、ものを造る面白さを伝え、ともに学び、ともに楽しみたいと思います。

A4: 現在野鳥を中心とした自然観察に、はまっています。近くの境川に暇があるときは散歩に行きます。野鳥の会や、森の手入れのグループにも参加しています

大塚 丈二 さん

横浜北2グループ
2012年4月入会



A1: 横浜から出たことがありません。南区に生まれ、戸塚区(S44に分割されて瀬谷区)で育ち、学びは神奈川区でした。結婚10年後に旭区に転居し現在に至っています。また、仕事は中区の会社に就職し、定年まで中区・西区・港北区の職場を歩き来していました。現在は西区(みなとみらい)の会社で仕事をしています。

A2: 定年後、図書館通いの毎日でしたが、ある日のこと地元のコミュニティハウス図書館に行った時、何気なく手に取ったのが黄色いチラシ。即座にやりたい!と思いました、私としては珍しく即断即決でした。内容など相性が合ったのだと思います。

A3: テーマを模索中です。現在は、アシスタントとして楽しく子供に接することを目標としています。

A4: 日曜日の午後に「よこはま動物園ズーラシア」の

原 登志子 さん

横浜東グループ
2012年4月入会



A1: 兄のあとを追いかけて、弟と競って昆虫採集や模型作りに夢中になった子ども時代。中学・高校時代、生物の先生の、黒板いっぱいに図を描いての授業に魅せられて、「生物学」の虜に。

「生物学では食べてはいけないよ!」との周りの声にも惑わされることなく生物学科へ進学。卒業後しばらくは教務補佐員として大学に残ったが、その後、私立学校の理科教師を務め、結婚・出産を機に退職。

子育てが一段したところで再就職。シンクタンクの研究員等を経て、45歳からベンチャー企業に20年勤務し、昨年無事定年退職。

A2: 企業が社会貢献事業としてすすめている、科学好きな子どもづくりのためのプログラムに、関心を持ち、定年後はこんなこともいいなと考えていた。定年退職の5日前、日経新聞に載った工房に関する記事を目にしたのが、入会のきっかけ。

A3: 動植物の成長過程、発酵、腐敗、拡散、酸化(錆や変色)等、時間をかけて取り組む必要のあるプログラムづくり

A4: 美味しいものを探すのが好き。時間があれば、蕎麦の名店や、季節ごとに地元の食材を供する宿を巡る旅を楽しんでいる。

ここ10年、春の楽しみは、野草をだし汁でしゃぶしゃぶ風に味わう「草鍋」を食べに、信州に出かけること。

A5: 知力を伸ばすだけでなく、心を豊かにけるために出来るだけ多くの体験をして欲しい。また、目に見えない大切なもののあることを、知って欲しい。

サポートーズで活動しています。お越しの際はエプロンと帽子を目当てにお声を掛けてください。

後、60歳の手習いで始めた楽器(未だ基礎練習レベル)

A5: 自身の能力を信じる。チャレンジすること。具体的な目標を持ち、一歩々々進むこと。(継続は力なり)

会員のプロフィール(自己紹介) 続き



北村 富雄 さん
 横浜東グループ
 2012年4月入会

A1: 横浜市西区に生まれ、家庭を持って港南区に移りましたが、一度も市外に住んだことのない生粋の浜っ子です。勤め先が横須賀だったので県外の生活もあまり経験がありませんが、汽車が好きで国鉄線はほとんど行ったことがあります。

A2: 定年後、パンフレットで工房の活動を知り、研修に応募しました。子供の時から理系が好きだったのですが、事務系に進んでしまい、科学とは縁のない世界におりましたので、丁度良い機会になりました。

A3: 小さい時から模型を作るのが好きでしたがいつの間にか遠ざかっていました。子供たちと工作、実験等を通じて新しいものを作り出していきたいと思っています

A4: 昔、家の前を市電が走っており、いつの間にか、鉄ちゃんになっていました。O ケージの鉄道模型に始まり、SL を追って全国を旅しました。今も写真等で楽しんでいます。アート、パソコンをいじったり、美術館巡りとかしています。

A5: 何故、どうしてという心と自分で作り出す力を持ってほしい。昔は疑問があると野山に入り探し出し、ノコ、トンカチで作りました。今はインターネットで簡単に答えが出てくるし、プラモデルキットを張り合わせるとすぐ出来てしまいます。

A6: 子供に教えるのではなく、一緒に考えるという気持ちで活動していきたいと思っています。

長谷川 秋治 さん
 横浜北2グループ
 2012年4月入会



A1: 生まれは、北海道のオホーツク海に面した上湧別町という屯田兵の開拓地です。電機メーカー勤務で茨城県東海村に定年まで暮らし、2011年の震災後に横浜大口に来ました。

A2: サンデー毎日で時間を持て余している時、地区センターで、工房の研修案内を見かけたのをきっかけに参加することとしました。子供のころ理科工作が大好きだった事を思い出し、子供たちとふれあいながら自分も楽しみながら誰かの役に立つ事が出来る事には素晴らしいと思います。

A3 物理。電気関係が大好きでたいがいの事は 知っているつもりでしたが、定年後のこの年になって改めて知ることも多くありびっくりしています。このびり感をこどもにたくさん届けたいと思っています。

A4 趣味は、音楽鑑賞、へたな囲碁くらいでしょうか？ それとこのたんけん工房の延長ではないですが10月から小学校の理科支援員を始めました。3日/週は子どもたちと触れ合い楽しくすごしています。

A5: 物事の探究心を育み、何事も諦めない粘り強い精神力と自分で考え行動する習慣を身に付けてほしいと思います。

A6: この工房に参加している皆さんの熱意には、いつも感銘を受けています。私たちの「未来」であり「希望」であるこどもたちの人間形成に多少なりとも関わられるように努めたいと思います。

会員のプロフィール(自己紹介)
 質問項目

- Q1 生まれたところ、今住んでいるところと、ごく簡単な略歴を差し支えない範囲でお書きください。
- Q2 たんけん工房に参加するようになったいきさつと、動機を書いてください。
- Q3 たんけん工房でやってみたいことはどんなことですか？ 具体的なテーマでも、夢のイメージでも。
- Q4 趣味や、他に活動していることはどんなことですか？
- Q5 子どもたちにぜひすすめたいことはなんですか？
- Q6 その他付け加えたいことがあればご自由に一言。

会員のプロフィール紹介は一方通行なので、Facebook のように共有できて、かつ応答もできる形が欲しいと思いませんか？

